

令和4年産

ハナエチゼンの適期収穫予測

令和4年産米も、ハナエチゼンの収穫期が近づいています。穂の状態を注視し、刈り遅れないよう適期収穫に努めましょう。

■ 籾水分による収穫適期の予測方法

収穫開始の目安と籾水分は 25%



籾水分は 30%以上の場合 1 日あたり 0.9%程度低下します。籾水分が 30%以下になれば玄米水分計で計測でき、30%以下になり収穫が近づくと(出穂後 24~27 日頃以降)、1 日あたり 0.5~0.6%程度減少します。刈り遅れると胴割粒が発生につながりますので、収穫直前までの間断通水とあわせて適期収穫に努めましょう。

$$\left(\begin{array}{c} \text{調査日の籾水分} \\ \text{(ただし 30\%以下)} \end{array} - 25.0 \right) \div 0.5 = \begin{array}{c} \text{調査日から収穫開始期} \\ \text{までの予測日数(日)} \end{array}$$

※例:調査日の籾水分が 28.5%の場合

$$(28.5 - 25.0) \div 0.5 = 7 \rightarrow \text{収穫開始まで 7 日間}$$

■ 水分測定の結果

管内各地区の水分測定結果を見ると 8 月 16 日頃より収穫期を迎える集落が多いと思われます。今後の天気や気温の予報を参考に収穫準備をお願いします。



青籾残存率
45%の籾

(下記参照)

集落	籾水分	青籾残存率	25%までの 予測日数	予想収穫 開始日
平出	28.7%	40%	8日	8月17日
池ノ上	29.5%	45%	9日	8月18日
余田	28.9%	35%	8日	8月17日
上太田	28.4%	40%	7日	8月16日
三ツ屋	28.8%	35%	8日	8月17日
矢放	29.3%	40%	9日	8月18日
下牧谷	28.4%	35%	7日	8月16日
安養寺	28.5%	45%	7日	8月16日

※籾水分だけで判断せず、穂の様子をこまめに観察し刈取り予想の補正を行いましょ。穂元に青籾が 10~15%残った状態が刈取適期です。籾が全部黄色になる頃には、穂先の籾が刈遅れの状態になっていることが多いので、穂元に薄緑色した籾の割合が 10%~15%(青籾割合が 50%となってから約 9~10 日後)を下回ったら刈取りを始め、5%程度になるまでに刈り終えるように心がけましょ。